



自立 開拓 共生

泉中リアル 4月号

平成31年4月26日
(平成最終号)

発行者：学校長 小菅隆司
電話：045(802)8797

新年度が始まりました。さて、今年の新入生や上級生の様子はいかに…。

学校長 小菅 隆司

今、学校では新入生の部活動仮入部の期間です。校長室の前の廊下には、申込袋が貼ってあり、「どこにしようか」「あそこにしよう」と小学校時代の同級生や早くも見つけた仲間と大声で大騒ぎ。「あの部の先輩は優しかった」「昨日の顧問の先生、ステキー」と激しい情報戦を繰り広げ、探検気分で見慣れた部を渡り歩く生徒達。先輩達も、ここぞとばかり、「頼もしくて優しい上級生」の姿勢を崩しません。毎年、見慣れた光景ですが、これも成長機会。さすがに部活は、中学校の醍醐味です。

一方、ニヤリと笑いながら「校長先生、8人ですよ。8人。」と大量見学に自慢気な中堅男性教諭、「ギター(°▽°)ー!」と大喜びのベテラン男性教諭。(昨日は、ひとりも来ないって泣いてたものね)

この時ばかりは、大の大人も、期待と不安に一喜一憂。ただ、もう少し静かにね、頼むよ。(笑)

★ 益々増える人との出会い、果たしてみんなと仲良くなれるか…

本号リアルが発行される頃には、部活も決まり、学級、専門委員会と共に新しい集団がスタート。でも、クラス(学級)とは、実に奇妙な集団です。同じ年に生まれた人間だけのコミュニティ。学校ならではの奇妙な集団は、中学校のクラス(学級)が最後になります。

新しいクラスが始まると、生徒は「果たしてみんなと仲良くなれるかな」と一人で心配になりがち。ましてや、力強く語る熱血先生から、「みんなと仲良く」「心を一つにしていこう」と言われた時には、「どうしよう」「どうやればいいの」と考え込む生徒もいるはず。いえ、必ずいます。



「何故なの? だって、たまたま同じクラスになっただけだよ!!!」



★ 「いつもみんな仲良く」「心を一つに…」の言葉の裏側

何故、「みんなと仲良く」「心を一つに」しなければならないのか。もちろん、出来るに越したことはないかもしれませんが、でも、「いつも仲良く」の人間関係は、大人でも簡単なものではありません。

これまで、学校は「みんなと同じこと」を「同じペース」で「同じようなやり方」を取り、勉強させる方法を続けてきました。学年学級制は、その為に開発された制度です。効率的なこのシステムは、同質性の高い生徒集団を作る必要がありました。当然、子供が「みんなと仲良く」「心を一つに」行動してくれたほうが都合が良いことになります。この言葉は、実は「学校都合」の色が強いのです。

★ 自分なりの心地よい関係性を作る事の大切さ

中学は「社会で良い生活が出来るよう」学ぶところ。必要に応じて、必要な人と関わり、そこで人間関係を構築できれば良いはず。一人であるのが好きとか、少数の信頼できる仲間がいれば十分とか、本人が心地良ければOKです。3年間の奇妙な集団の中、無理やりに、関わらせる必要はあません。過剰に「みんな仲良く」「心ひとつに」を

求める事は、教師のエゴであり、生徒の多様性を尊重する今、筋違いの指導ともいえるのです。



一方、一人ひとりが、同じ目標を持って、自ら集まった集団は違えます。「一枚岩は強い」と言われるように、目標達成の為に「心ひとつ」は重要な要素。同じ志の、同じ気持ちの仲間と、懸命な努力の末に、勝ち取った勝利、目標を達成できた時の喜びの心地良さは格別なもの。誰もが、一度体験すると病みつきになります。この「快感」を体験し、その過程を学ぶことも、中学校の成長機会の一つだ、という事も忘れないでください。

人間関係の在り方はひとつではない。重要なキーワードです。



百花繚乱 未来に向けて <未来につながる今をご紹介>

学校はいつも変化します。主役の生徒が変わり、また、成長し、世代変わりしていきます。このコーナーは、未来につながる泉中や地域の何気ない「リアル」をご紹介します。

入学式・対面式（文責：早坂・鈴木）

第49回入学式

4月5日桜の花びらが舞うなか、平成最後の第49回入学式が行われました。今年は142名が泉が丘中学校に仲間入り。下ろしたてのちょっぴり大きな標準服を着た新入生。ドキドキワクワクを胸いっぱいの新入生の姿に、私達教職員も新しい泉中のはじまりに胸が躍ります。

新入生代表の金岡咲奈さんは、楽しみにしている部活動のことや中学生として自覚を持ちたいという決意を堂々と話してくれました。



早坂のココロの声

4月は授業参観、懇談会(3年は修学旅行説明会)、部活動説明会があり、1年生は家庭訪問もありました。保護者の方には学校の予定に合わせていただき、ご協力本当に感謝しています。

今年度もこの泉中リアルで学校の様子をお伝えしていきますので、どうぞよろしくお願い致します！

対面式

今年は「花冷え」「寒の戻り」という言葉が聞かれた4月上旬。入学式後の登校初日、この日も午前中は雨が降り、肌寒い日でした。

そんな中、体育館では1年生と2・3年生が初対面。佐々木乙葉さんが新入生代表の言葉を述べ、生徒会長の秋本美帆さんからメッセージをもらいました。

1年生は花鉢をもらい、教室で大切に

育てています。

1年生は上級生の姿を見て、2・3年生は、1年生の姿を見て何を感じたでしょうか。

今年度、新たに学校目標に加わった「挑戦」どの学年の生徒もそれぞれの場所で「挑戦」し、お互いを刺激し合って成長して欲しいと願います。

職員紹介。
よろしくお願い致します。

吹奏楽部のみなさん、
ステキな演奏をありがとう！



新入生代表の言葉

生徒会長から挨拶

誰もいない校長室<校長コラム>

「安全に生活するために・・・便利な挨拶」

以前、米国のNYで駐在していた時の事。米国に着任当初まだまだ、英語が拙い時期(今も変わらないが)の新年度、初めてついた、いかにもアメリカンといった大きな身体の秘書の女性スーザンとの会話を思い出す。

All Americans are friendly. Greet everyone.

(私:アメリカ人は皆、親しげな人達なんだね。

誰でもすれ違いに挨拶する)

Japanese people are so shy.

(私:日本人は、恥ずかしがり屋だから)

Hmm~.Originally immigrants, so it may be friendly

(S:う〜ん、元々は移民だから、そうかしらね)

But may be. Greetings to ensure each other safe.

(S:でも多分。挨拶(ハイ)は互いに安全な人間と示す為よ)

Raise your hand to show that you don't have gun.

(S:手を挙げるのは、銃を持ってない事を見せる為よ。)

正直、ビックリした。確かに銃社会のアメリカ。多くの人種と移民を抱える素性のわからない者同士が、安全のサインとして挨拶していたとは・・・

日本に帰国し、流石に「ハイ」とは

言えないが、今もできるだけ大きな声で挨拶する。

「挨拶」は相手を和ませ、安心させる効果があると思うのだ。ちなみにスーザンは、「イツ ジョーク」も忘れなかった。



セクシャルハラスメント

横浜市では、平成25年度より、「横浜市職員ハラスメント対応指針」に基づき、各職場でのハラスメント対策に取り組んでいます。

特に、生徒に対する「セクシャル・ハラスメント」行為は、教職員一人ひとりが深刻に受け止め、未然防止に取り組むべきことと認識しております。今年度も引き続き、下記の通り、相談窓口を設置いたします。お気づきの点ありましたら、御相談ください。

校内相談窓口

副校長 山崎裕之
養護教諭 轟 英里

外部相談窓口

教育総合センター 電話671-3726
(月～金 9:00～17:00)

離任式 (文責:鳥海)

新年度が始まり、新入生や新たに着任される先生方を迎える一方で、今まで共に過ごした先生方ともお別れの時……。今日は5人の先生方を見送る離任式です。離任式では、生徒へ伝えたい最後の言葉を送ります。いつもはクールな亀井先生も、7年間務めた泉が丘中学校への熱い思いを語ります。自分の担当する数学の教科を話の切り口にしながら「苦手なことをチャレンジする

人が成功する」という話を語りました。どの職員も毎日通っていた中学校を離任するとなると寂しさはひとしお。一方、見送ってくれる生徒の言葉も温かい離任式でした。

鳥海の目 〇〇<鳥海コラム>

春になると新しく着任される先生方との出会いと、離任される先生方との別れがあります。私は泉が丘中学校に着任して今年度で5年目です。こうして離任式を見ていると、新任として初めて勤めた泉が丘中学校を離れるときはどのような気持ちになるのだろう?と考えてしまいます。今は悔いのないように日々、精一杯頑張るのみです。



健康診断 (文責:鳥海)

新年度、様々なことを決める学活や学年集会、避難訓練など慌ただしい中で行われる健康診断。先生たちは臨時の検査員となって視力検査と身長体重測定、握力検査を行います。右、左と指をさしながら必死に視力検査表を眺める生徒の姿や、昼食後の体重測定にご立腹な様子、身長の数へのこだわり等様々な姿が見られ、わいわい賑やかです。



今年度は教室で握力検査を行ないました。少しでも良い数値を出そうと眉間にしわを寄せて力を込めます。計測は「気をつけの姿勢で。」がルールですが、気合が入って自然と前傾姿勢に。握力の数値が高いと「おー」と歓声。それを喜ぶ男子生徒と、それを見て感心する女子生徒の姿は、見ていてほほえましいもの。

特に私の担当する2年生は成長真っ只中、1年生の頃と比較してずいぶん成長したことがわかり、感慨深い健康診断でした。

部活動仮入部 (文責:小笠原)

初めての部活動に、期待と不安をもちながら始まった仮入部。始まる前から「何人来るかな?」「沢山入部してほしいな。」と、2・3年生もソワソワしていて、その姿がとても印象的でした。2年生は、初めての下級生に戸惑いながらも、優しく、一生懸命に教えて、頼もしかったです。3年生は、テキパキと的確な指示を出し、最上級生の貫禄十分。1年生をしっかりとリードしていました。どの部活動も、入部してもらおうと、練習メニューを工夫していて、普段よりも充実した活動ができていたように思います。

最初は緊張していた1年生でしたが、何日か経つと、すっかり馴染み、楽しそうに活動に取り組んでいました。毎日、違う部活動に仮入部をして



いる生徒、同じ部活動に行く生徒と様々でしたが、それぞれの生徒にとって、良い時間を過ごせていたら嬉しいです。試合や行事などで2・3年生と共に1年生が活躍することを楽しみにしています。